選挙・政治に参加しよう！

1月22日（月）の3・4校時、全校生徒を対象に「明るい選挙啓発授業」が行われました。

当日は明るい選挙推進協議会、選挙管理委員会の方々においでいただき、選挙制度についての講義と衆議院比例代表選挙の模擬投票を行い、投票方法やドント式による当選者の決定方法について確認しました。生徒たちはグループワークなどを通し、地域や社会への関心を持ち、民主主義に参加することの大切さを実感したようです。

『みやきた新聞』は、地域の方々に宮古北高等学校をもっと知っていただくために発行を開始した情報発信紙です。勉強や様々な行事に生き生きとがんばっている生徒の姿をご覧ください。

みやきた新聞
2月号
平成３０年２月１９日発行
岩手県立宮古北高等学校

地域・家庭と連携した健康づくりのために
学校保健委員会

学校保健の諸課題を検討し、生徒の健康の保持増進に関わる活動を充実させることを目的に、「学校保健委員会」が1月31日（水）に行われました。

当日は学校医の橋本祥弘先生（内科）、山本尚徳先生（歯科）、学校薬剤師の三浦敏子先生、田老保健センターの小野寺由美子所長にご出席いただき、本校の生徒の肥満度や歯科検診の結果などについて、ご指導・ご助言をいただきました。

ご出席いただいた先生方、どうもありがとうございました。

宮古下閉伊地区高校芸術展

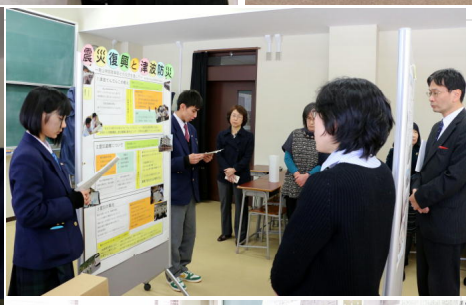
１月16日（火）～21日（日）の６日間、宮古市民文化会館で「第31回宮古下閉伊地区高校芸術展」が開催されました。

本校からは写真部、美術部、茶華道部が作品を出品し、19日（金）には手芸部が受付として会場当番を務めました。

昨年度の宮古市立図書館から今年度は宮古市民文化会館の展示室・中ホールに会場を移し、これまでにもまして充実した内容の芸術展になりました。

16日（火）に中ホールで行われた開会式では、宮古商業高校海鳴太鼓同好会の「宮商海鳴り太鼓」や岩泉高校郷土芸能同好会の「中野七頭舞」も披露されました。

災害文化研究会で発表



生徒会副会長の２Ａ佐可野俊大さんと１Ａ大堀遥菜さんが、２月２日（土）に岩手大学で行われた「第３回災害文化研究会」のポスターセッションに参加しました。

本校が展示したポスターは、青山学院高等部との震災をテーマにした意見交換を、生徒会執行部が２週間をかけてまとめたもので、２人は参加者に約15分の説明を行いました。

ポスターセッションに続いてフォトジャーナリストの安田菜津紀さんによる講演やパネル・ディスカッションも行われ、安田さんからは本校に２冊の著書をいただきました。

トラブルに巻き込まれないために 金融経済セミナー実施

２月15日（木）、３年生を対象に、多重債務や悪質商法などの消費者トラブルに巻き込まれないため、商取引や金融に関する基礎知識、悪質商法への対処法などを学ぶ、「金融経済セミナー」が実施されました。講師は岩手県金融広報アドバイザーの中屋学先生で、卒業を間近に控えた３年生には、社会人としての自覚を新たにする機会となりました。